



2018年1次隊、田中久美子です。

コロナの影響で任期を4カ月残しての、一時帰国から早1年になろうとしています。

配属先の皆さんにご挨拶もできないまま帰国したことが心残りでしたが、その後もSNSを通し繋がりが続いていることを嬉しく思います。

帰国後は約2カ月おきに、日本語学校の先生や保護者を対象に、リモートで“食“や“栄養“に関する勉強会を行っています。

私の約1年8カ月の活動は非常に有意義なものでした。日系人に限らず、

非日系人も和食に対する関心は想像以上に高く、料理講習会には多数の方が参加してくださいました。

配属先を拠点に巡回講習を行っていましたが、日系団体の数が非常に多かったので

1か所で合同の講習会を行うなどの工夫は必要でした。広大なブラジル、近隣といっても車で1、2時間はかかるころばかり。そんな遠方からの参加に、やはり日本で食されている本当の和食を知りたいという皆さんの思いを強く

感じ、講習はいつも気合の入るものとなりました。

また、世代交代が進み、祖国の味が益々遠のいてしまわないように、今しっか

りと受け継いでいかなければと若い世代のリーダーが活動されている姿もあり

り、喜ばしくまた、頼もしく感じます。料理のボランティア派遣が今後も続き、

わしょく しどう じんざい そだ かくち こうしゅうかい ひら
和食の指導ができるような人材が育ち、やがて各地で講習会を開くことができ
るようになればと願います。

こうしゅうかい む じゅんびどう ちょうりしつ せつび きぐ しょくざい てはい じんりょく
講習会に向けての準備等では調理室の設備、器具、食材の手配などご尽力く
ださった皆様のおかげで、いつも円滑な活動ができましたことを心から感謝し
ております。

ふにんちゅう かがたがた で あ いちばん たの
赴任中、たくさんの方々との出会いがあったこと、そして一番に楽しく、やり
がいを感じながら活動できたことは生涯忘れられない幸せな時間となりました。
た。